

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	戸田市立新曾南保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	宮澤 克子	定員(利用人数)：	106 (105) 名
所在地：	〒 335-0026 埼玉県戸田市新曾南2-15-38	TEL	048-444-7717

③評価実施期間

平成30年11月 2日(契約日)～平成31年 3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○広い自然豊かな園庭の環境を活かし、子ども達の興味と関心につなげている
 広い園庭で思いっきり走りまわれ、鬼ごっこができる環境がある。やりたい時に使える固定遊具で遊ぶなど、伸び伸びと体を動かし運動的な遊びができる環境が整備されている。自然に恵まれた園庭では、四季折々に実のなる木も多く、四季の移り変わりを感じて遊ぶことができる。春は桜の花を楽しみおままごとで花びらのケーキにトッピングにして遊びを発展している。また、子ども達が名前を付けた園庭の「むしゃむしゃの森」の探検や泥んこ遊び・虫取りなど、季節に応じて園庭の環境を子ども達の興味と関心につなげている。安心して過ごせる園庭での日常的な実体験を通した遊びは、子ども達の豊かな育ちの場所となっている。

○年間を通して家族グループを構成し、異年齢交流を行っている

3歳児～5歳児は5～6名の家族グループを構成し、5月～3月まで一緒に活動を行い交流を深めている。会食をしたり、リズム遊びをしたり、運動会では家族競技を取り入れている。日常の園庭での自由遊びや延長保育時間帯など、グループの家族での遊びが自然発生し小さい子どものお世話をしたり、お兄さんやお姉さんの真似をしたりと関係性が育まれている。0歳児～2歳児も一緒にリズムや会食をするなど、職員の連携のもとで行われている。

◇特にコメントを要する点

○子どもが主体性を考えて遊びにつなげ、玩具を選ぶことができるなど、主体的に遊ぶことができる豊かな保育環境の工夫を期待したい

豊かな園庭を活かして子ども達は自然に触れながら、年齢を超えた環境で保育園生活を楽しくしている。職員間で子どもの主体性を活かす遊びの取り組み・アイデアなどを検討・協議し、園庭での遊び、保育室内での遊びの中に様々な機会として提供されたい。また、保育室には玩具などを入れた棚やロッカーなどが置かれ、そこから子ども達が自由に出し入れして遊ぶことができるようになってきている。また、必要に応じて保育者が提供して子ども達が遊べるようにしている。子どもが主体性を発揮して自分から遊びや玩具を選んで遊べるようにするための遊びを選択でき、遊び込める環境、豊かな素材や玩具の数や種類、年齢や発達に沿った玩具などの工夫や検討を期待したい。

○ヒヤリハットの取り組みを活かし、子ども達の安心・安全のリスクマネジメントへのさらなる展開を期待したい

危機管理マニュアルの中に「室内・散歩・プール等」の項目があり、安心・安全な保育に日頃から丁寧に取り組んでいる。園として事故報告書やヒヤリハットを職員会議で毎回報告・検討されているが今後はその事例をもとに保育室及び園庭・園全体でのヒヤリハットマップを作成するなど、より具体的に危険な場所を確認し、どのように対応すれば事故などを未然に防げるのかを考慮して対策を進められたい。また、これまでのヒヤリハットの報告を場所や時間帯、子どもの年齢などで整理・集計するなど、さらなる事故防止・抑止に向けた対策へ期待したい。

○人材育成などに関する体系が整備されており、個別の研修や育成計画の策定などを工夫して、職員のやる気と働きがいのさらなる向上に活かされたい

人材育成に関する基本的な方針に基づき、市内研修計画に沿って参加し、各職員は保育活動の質向上、保育者としての資質を高める取り組みを進めている。職種別や階層別の研修に参加して専門の研究活動などを通じて、成果などを園内研修や保育活動につなげている。また、業績評価・能力評価・人事評価に関する対応などが盛り込まれた人事評価マニュアルを整え、定期的な面談を行い目標の設定・進捗状況の確認・期末における達成状況に関する自己申告を行い、年度毎の人事評価に活かされている。既存の業務評価シートなどの活用を工夫することで、職員の将来的な展望、希望や要望などを整理し、これまで学んできた内容や経験、経歴なども考慮して個別の研修や育成計画として取りまとめ、人材の育成・職員相互の高め合いにつなげることで、やる気・働きがいのさらなる向上に活かす取り組みにも期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審するにあたり、職員で保育マニュアル及び保健マニュアルを見直し、確認を行ったことで新たな気づきもあり、さらに自分たちの保育を振り返る機会となり、職員一人ひとりの保育の質の向上につながったのではないかと思います。また、日頃から定期的に行っている園舎内外の点検も、今回は職員一人ひとりが各自の目で確認したことで安全面の強化にもつながりました。今回の総評でよい評価をいただいた、自然豊かな広々とした園庭のことや、年間通して家族グループを構成し異年齢交流を行っていること等については、今後さらに独自性を活かせるよう工夫していきたいと思えます。

お忙しい中ご提出いただいた保護者の皆様からのアンケートにあった、良い点や改善が必要とされる点、第三者評価を受審した際のアドバイスを真摯に受け止め職員全員で共通認識をもち、今後の改善に活かしていきたいと思えます。

子ども達にとっても、保護者の皆様にとっても安心安全でより良い保育園生活が送れる園運営をめざし、職員全員で取り組んで参りたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり